

平成22年度一般会計補正予算説明資料

6款 農林水産業費

4項 林業費

公園自然課（内線：7872）

9目 狩猟費

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
特定鳥獣保護管理事業（ツキノワグマ被害緊急対策事業）	16,057	7,485	23,542				7,485	
トータルコスト	35,420	9,099	44,519	（補正に係る主な業務内容）				
従事する職員数	2.4人	0.2人	2.6人	契約事務、委託業者との連絡・調整				
工程表の政策目標（指標）	—							

説明

1 事業の目的・概要

本年はクマの目撃情報が近年になく多く、重大な人身被害も発生していることから、より一層被害防止の徹底を図るとともに、個体数管理をよりの確に行うために保護管理計画の見直しを検討する。また、今後も捕獲数が増加することをみこして、学習放獣に係る経費を大幅に増額する。

2 主な事業内容

捕獲されたツキノワグマに、人里への接近を避けるよう人に対する嫌悪感を与える学習をさせて、発信器を装着して奥山に放獣する。

生息実態を正確に把握するため、生息状況調査の項目等を拡充して実施し、出没傾向をより詳細に分析するとともに、状況が類似している平成16年度出没箇所の市町村等を対象とした学習会の実施など支援を強化する。

- 放獣業務委託料 5,000千円 増額（放獣25頭分）
- 発信器購入 510千円 （発信器10個）
- 生息状況調査委託料 1,975千円 （拡充調査委託料）

3 これまでの取組状況、改善点

- ①「鳥取県ツキノワグマ保護管理計画」に基づき、希少野生動物であるツキノワグマの捕獲された個体に、麻酔処置して発信器を装着し、人への忌避対策を行い奥山に放獣している。
- ②この業務は専門性が非常に高く、専門業者への業務委託により作業を実施している。
- ③しかしながら、今年度は開始以来初めて4月期の学習放獣を行うなど、8月末時点で例年の2倍の実施件数で推移しており、過去の目撃件数などの傾向から推測すると今年度は大量出没年に該当すると考えられる。